

■年次主任の独り言■

- “EdTech” という言葉をご存じだろうか。「エドテック」と読む。Education と Technology を掛けた造語である。FinTech (金融× Technology) や AdTech (広告× Technology)、HRTech (人材× Technology) といった言葉を聞いたことがある人もいるかもしれないが、教育とテクノロジーの組み合わせで、「テクノロジーによってもたらされる教育分野の変化」の総称を意味し、教育格差の解消や教育現場の効率化などへ高い期待がされている。教育・学習領域では、学校や塾など教育を実際に提供する現場で活用されるアプリ・サービスや、自宅や外出先などいつでもどこでも受講できるオンライン学習の配信サービスなどでテクノロジーが導入されている。また、学習するためのものだけではなく、教師・教員や塾の講師が生徒の学習状況を把握・管理するツールなどにも IT 技術が導入されている。
- EdTech と e ラーニングに明確な違いはない。そもそも e ラーニングとは、インターネットやデジタルメディアを利用して学生の教育や社員の研修を行うサービスを指す。e ラーニングには当然 IT 技術が活用されており、EdTech と言われる領域と重複する。「いつでもどこでも講義が受けられる」、「講師による教育の質の差が出ない」などメリットが多数あることも共通している。インターネットや PC の普及・機能向上にともって急速に発展しており、今年新型コロナウイルス感染拡大によって大学等が休学状態となる中で、オンライン講義などが普通になってきている。この傾向は益々進むであろう。今のような教室での授業の型が全くなくなってしまうことはないかもしれないが、全ての授業時に一人が一台 PC を使って勉強する（実際、文部科学省はこの政策を進めている）とか、宿題が全てネット配信され、課題提出もネット返信になるような時代がもうすぐそこに迫っている。
- しかしながら不安な面もある。教育の環境格差解消への期待がされている反面、学力格差が拡大するのではないかと危惧している。「いつでもどこでも勉強できる」、「教師の質によらず、誰でも同質の教育が受けられる」ということは、勉強する生徒の質（頭の良さ）などというのではなく、勉強に対する姿勢ややる気（やる気）が学力の差の第一要因となるということである。常にやる気を持って、ひたすら黙々と努力する。それをやり抜ける生徒が良い成績を修める。勉強中に SNS が気になって集中できず、ついついスマホをつつしてしまう。勉強を始めると直ぐに眠くなってしまふ。そんな生徒はどんどん勉強ができなくなっていくということである。現在のように先生にうさく言われて仕方なく課題を出すようなことをしては欠点・落第間違いなし。「やる気」を出すのは当たり前。その上で他者よりもどれだけ成績を上げていけるか。そんな時代になろうとしている。君たちはこの時代を生き抜いていけるだろうか？



- いよいよ3年次生の就職試験が解禁となった。新型コロナの影響で、今年は1ヶ月遅い10月16日（金）からのスタートであったが、例年なら9月16日の解禁である。来年はどうか分からないが、この日付は頭に入れておいて欲しい（恐らく来年はこの日付である）。
- 就職を希望する生徒はあと1年先となったということである。誰でも直前になれば必死で頑張る（頑張らない者は論外）。毎年のように3年次生は直前1ヶ月になって筆記試験対策や面接試験対策にバタバタしている様子を見せる。しかしながら、たった1ヶ月そこで実力が付くわけではない。1年次、2年次とコツコツと努力を積み重ね、規律正しい学校生活に努めた者が良い結果を手にするものである。
- 君たちはどうか？あと1年しかないが、あと1年もあるではないか。今のままで良いのか？もっともっと学力を付け、いろんな資格取得にチャレンジして。もっともっと部活動を頑張っ、少しでも上位の成績を修める。服装・頭髪・身嗜みは大丈夫か？来年になったらキチンと整える。そんなことが見抜けないような企業の人事担当であろうか。彼らは何年も採用試験を実施しているプロである。直ぐに見抜かれてしまう。実際、過去にも「やっぱりダメだったか」という生徒が不採用の結果となっている。
- あと1年である。今から動け。今から変われ。自分自身の“やる気”が全てである。先生に言われて嫌々直す、渋々始めるのでは実力は付かない。良い結果にしる悪い結果にしる、1年後の結果は君たち自身の行動した結果なのである。

♥[ペンリレー]先生からのメッセージ♥

図書室司書 春日 利津子 先生

青谷高の第1校舎が完成したのは50年前。当時私は青谷高の前を通って青谷小学校に通っていた。総合支所前の道路はまだなかったから、列車通学の青谷高生たちはあの細くて急な“はしご坂”を上って登校していた。

図書館に保存されている記録によると、1968年に青谷高は創立20周年を迎え、鉄筋3階建ての新校舎(現在の第1校舎)が完成した。これに続いて第2グラウンド、プールもできる。普通科と家政科があり700名くらいの生徒がいた。にぎやかだった。私は小学校の下校時に同級生と青谷高購買（自転車置場横の記念館1階にあった）に寄って、工作に使うために、バラ売りしていた鉛筆の空き箱をたくさんもらったことをよく覚えている。

70年前に地域からの要望によって設立された青谷高校である。残念ながら現在は青谷町民も青谷高生徒も数は少なくなっている。こういう中で青谷高生の活動が地域を盛り上げる一助になっているのがうれしい。私は青谷高に勤務して、はじめて青谷高の成り立ちや青谷町の歴史や自然の素晴らしさを知った。青谷町、とてもいいところだ！ランドセルしょって購買に来ている50年前の私に教えてやりたい。



青谷小の航空写真  
(建設中の第1校舎が写っている)



青谷小の運動会写真  
(完成した第1校舎が写っている。小学生の私もこの中にいる)

【Photograph バス旅行 in 蒜山高原センター 2020.10.9】



★11・12月の行事予定

11月		12月	
1	日	1	火
2	月	2	水
3	火	3	木
4	水	4	金
5	木	5	土
6	金	6	日
7	土	7	月
8	日	8	火
9	月	9	水
10	火	10	木
11	水	11	金
12	木	12	土
13	金	13	日
14	土	14	月
15	日	15	火
16	月	16	水
17	火	17	木
18	水	18	金
19	木	19	土
20	金	20	日
21	土	21	月
22	日	22	火
23	月	23	水
24	火	24	木
25	水	25	金
26	木	26	土
27	金	27	日
28	土	28	月
29	日	29	火
30	月	30	水
		31	木

		外部講師(地域環境芸術 3・4限)
文化の日		頭髮服装指導
外部講師(地域環境芸術 3・4限)		性に関する講演会(2年)
Jアラート(緊急地震速報訓練 10:00頃) 外部講師(3年リビングデザイン 3・4限)		数学検定
人権教育LHR(1・2年) 性に関する講演会(3年)		
全商珠算・電卓実務検定		
校内授業公開週間(～13日) 外部講師(音楽I 1・2限)		課題探究成果発表会(5～7限) 発表会準備(3年 4限)
		外部講師(3年フラワーデザイン 3・4限、3年リビングデザイン 3・4限) 青谷小学校での英語活動(異文化理解 3・4限)
外部講師(音楽表現 1限、音楽I 6・7限)		短縮40分授業 献血セミナー(3年 6限) 進路別ガイダンス(2年 5・6限)
5限のみ40分授業 人権教育LHR(全50分) 外部講師(音楽表現 1限)		
外部講師(音楽I 1・2限)		外部講師(地域環境芸術 3・4限)
考査割発表		スポーツ大会
外部講師(地域環境芸術 3・4限、音楽I 6・7限)		↑PTA個別懇談会(各日午後)
県内企業魅力発見講演会(1年 6・7限) 外部講師(3年リビングデザイン 3・4限)		
自宅学習調査(～26日) 職業人に学ぼう講演会(2年 5・6限) 薬物乱用防止講演会(3年)		
全商ビジネス文書実務検定		↓
勤労感謝の日		2学期終業式
↑2学期期末考査		冬季休業開始
2年次生徒保健委員会出前講座 (13:05～ 青谷小学校)		
		御用納め
いじめアンケート(～12月4日)		